

木造千手観音両脇土像



指定区分	国指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうせんじゅかんのりょうきょうじぞう
所在地	新見市豊永赤馬 三尾寺
指定年月日	明治34年8月2日
解説	千手観音坐像(像高132.8cm)、毘沙門天立像(同138cm)、不動明王立像(同約130cm)の3軀。いずれも檜材の寄木造。千手観音を中心にして、左に不動明王、右に毘沙門天を配した三尊形式の仏像を祀っている。鎌倉時代中期、13世紀後半の造像と考えられる。県下の鎌倉仏の中でも特に優美である。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	